

# 道作1号墳（第3次）現地説明会資料

主催：印西市教育委員会生涯学習課・（公財）印旛郡市文化財センター

2019年12月8日（日）10：00～12：00



第1図 遺跡の位置

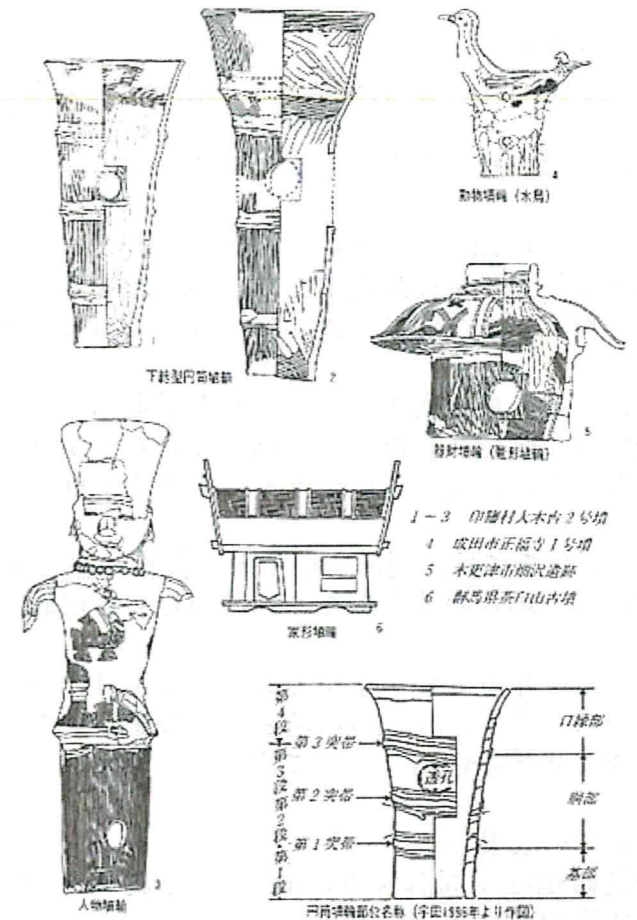
| ・各古墳の内容 |                                |
|---------|--------------------------------|
| 1       | 道作古墳群 前方後円墳7基・円墳14基・方墳1基       |
| 7       | 駒形古墳 前方後円墳2基                   |
| 4       | 小林古墳群 円墳4基 うち鶴塚古墳からは壺形の特殊埴輪が出土 |



第3図 道作1号墳全景

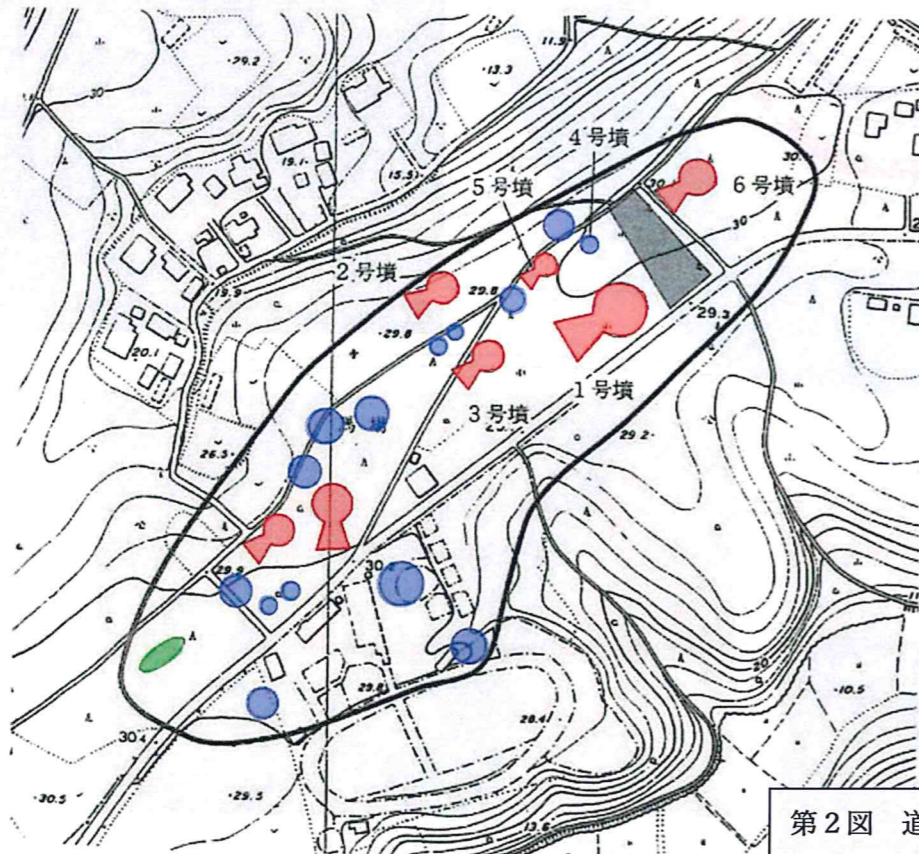


第4図 主体部検出状況



いろいろな埴輪

第5図 埴輪の種類



第2図 道作古墳群

| ・道作古墳群の各古墳の大きさ |         |       |                   |
|----------------|---------|-------|-------------------|
| 古墳番号           | 規模（全長）  | 墳形    | 備考                |
| 1号墳            | 46m     | 前方後円墳 | 下総形円筒埴輪・周溝有・埋葬施設有 |
| 2号墳            | 36m     | 前方後円墳 |                   |
| 3号墳            | 30.5m   | 前方後円墳 | 下総形円筒埴輪           |
| 4号墳            | 11m     | 円墳    | 周溝有               |
| 5号墳            | 15m（推定） | 前方後円墳 | 周溝有               |
| 6号墳            | 37m     | 前方後円墳 | 周溝有・鉄斧出土          |



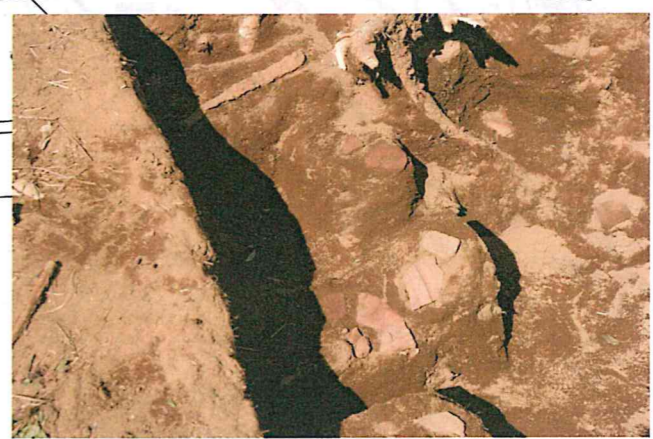
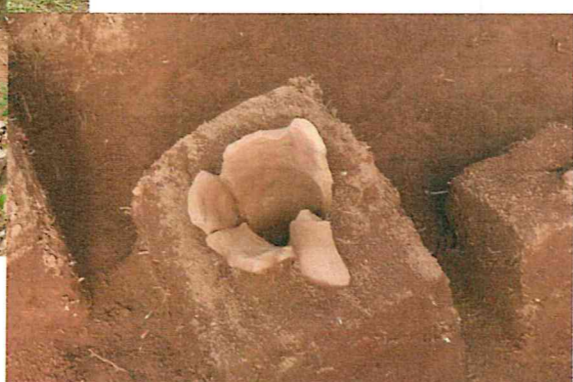
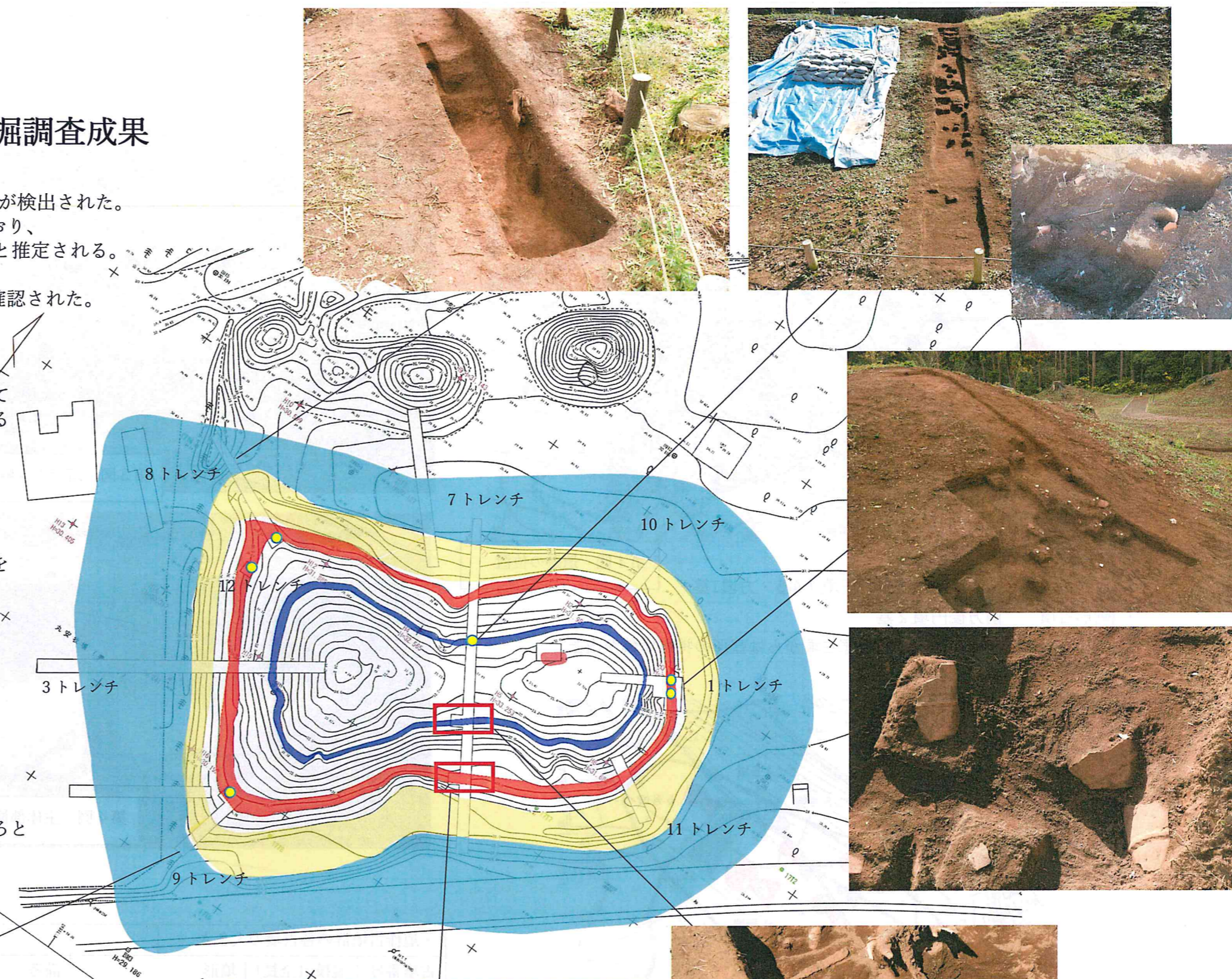
# 令和元年度 道作1号墳（第3次）発掘調査成果

## 今年度の成果

- ・1・8・9トレンチ墳裾部から原位置と推定される円筒埴輪列が検出された。  
また、7トレンチからは墳頂部からも埴輪の基部が出土しており、埴輪列は少なくとも墳頂部に1列、墳裾部に1列巡っていたと推定される。
- ・7トレンチ南側、墳頂部および平坦部において形象埴輪片が確認された。  
埴輪の種類は現在調査中であるが、形象埴輪は括れ部に集中しており、意図的に配置されたものであると考えられる。
- ・また、主に墳丘南側につくられた平坦面は、広範囲にわたって硬化面が確認されたうえ、周溝の立ち上がりとも連動していることから、古墳築造に伴うものであると推定される。
- ・8トレンチでは、周溝を切る形で後世の盛土及び溝状遺構が検出し、墳丘の改変がなされていたことが確認された。
- ・調査は今年度で終了予定であり、今後は出土した埴輪の分析を進める。また、周辺の古墳との比較を行いながら道作1号墳の性格について検討していく。

## これまでの成果

- ・全長約46m（周溝含め66m）、高さ約4mの前方後円墳。  
（印旛沼西岸域で最大）
- ・後円墳頂部に長さ約2.2m、最大幅0.85mの箱式石棺出土。  
石棺は絹雲母片岩（筑波石）製。
- ・出土した埴輪の特徴から、古墳の築造は6世紀第3四半期ころと推定される。



凡例  
■: 周溝 ■: 平坦面 ●: 埴輪（基部）  
■: 墳裾埴輪列 ■: 墳丘埴輪列 : 形象埴輪出土位置